

# 6月の活動報告

・青年経営者全国交流会茨城大会の大成功への挑戦を通して、自立型企業づくり・質の高い企業づくりに挑戦しよう。  
・持続発展する同友会組織づくりに挑戦しよう。

オブザーバー  
参加大歓迎!!

## 日立支部

6月7日(水) 日立シビックセンターにて  
『これまでの課題、これからの課題  
～こだわりと経営のはざまで見える理想とは～』  
報告者:滑川 裕さん (有)スタンプナメカワ 代表取締役



日立支部6月例会は、「経営課題」をテーマに、同友会日立支部を立て直し、今では県の専務理事まで務めるミスター同友会こと滑川さんに報告をいただきました。これまでの例会では、仲間づくりのリーダーとして、同友会の魅力を発信するオリエンテーション的な内容を中心に報告いただいていたのですが、今回の例会では、滑川さんの生い立ちや事業承継、事業拡大や挫折、経営理念の作成、現実と理想、そしてこれからの経営課題について、滑川さんの生き様を、あますことなく話していただきました。滑川さんから涙ながらに語られる、経営理念にこめた想い、職業体験を行った中学生からの手紙には、参加者の目にも涙が浮かび、どんなに経営に迷っても、どんな課題があろうと最後には理念に立ち返るのだということに改めて感じました。最後に、「滑川さんが経営に一番全力投球したのはいつですか?」という質問に対して、「今日の報告を経て、これからの1年間です」という決意表明をいただき、熱い例会報告が終了しました。(レポート:高橋 秀幸さん)

## 県央海浜支部

6月27日(火) ワークプラザ勝田にて  
『お客様の為に常識を変える!』  
～一年生経営者の苦悩と野望～  
報告者:井上 雄介さん 骨格サロンGRACEVILLA 代表



まだ入会されて間もない井上さんですが、とても勉強熱心でとにかく行動がはやい方です。SWOT分析やライバル社との違いをしっかりと把握し、自社の付加価値を自覚して戦略として打ち出す内容でした。グループ討論でも自社の付加価値を考える事をまずしているか? お客様に打ち出しているかなど話し合いました。「分かっているけど、中々考える暇がない」「考えた事がない」「考え実践している」など、企業によって様々でした。考える、話し合う時間、機会を支部で作り、みんなでも向上していく支部作りが必要だと思いました。(レポート:矢内 夕子さん)

## 水戸支部

6月22日(木) 茨城県総合福祉会館にて  
『今こそ再確認!』  
”同友会的労使関係”を学んで  
人を生かす経営を実践しよう!  
報告者:高谷 豊さん 高谷税理士事務所 所長



水戸支部6月例会では、茨城同友会の代表理事である高谷豊さんから、人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解～について学び合いました。企業において社員を一人でも雇用していれば、労使関係は経営者にとって永遠の問題です。同友会の先輩たちも労使関係で幾多の苦悩を経験し、その経験から労使見解は生まれてきました。経営者のあるべき姿、経営者と社員の関係など、企業発展のカギとなる答えが詰まっています。対等な労使関係は、社員を最も尊敬できるパートナーと考え、高い次元での団結を目指し、ともに育ちあうこと、労使の信頼関係なくして、企業の発展は望めません。人を生かす経営とは、社員が生き生きと目標を持ち、自主的に働くこと、その中で成長し、経営者と社員は、互いにあてにしていける関係にあることといえます。そして、経営指針を作って、社員と共有し、目標を掲げ、その目標を社員と一緒に達成していく、仕組みづくりのことなのです。これは同友会の先人たちが、自らの苦勞をもとに、後に続くわたしたち経営者と社員がともに幸せになるために考えられたものです。だからこそ、企業経営と同友会活動は不離一体なのです。同友会活動を深く学ぶことは経営者と社員が幸せになる近道であることを改めて学びました。(レポート:山崎 勝弘さん)

## 南西支部

6月2日(金) 二の宮交流センターにて  
『人材不足をどう補うか? 残業は減らせるか?』  
～徹底討論し、社労士さんに  
ありorなしをジャッジしてもらおう～



南西支部6月例会は、「人材不足をどう補うか? 残業は減らせるか?」をテーマに参加者ひとりずつ意見を出し、話し合いました。それぞれ業界全体の傾向と自社の状況を確認した上で、徳田社会保険労務士事務所の徳田徹也さんより「働き方改革」政策について講義を頂きました。〇×札を提示しながら、自社労務のあり方を見つめ直し、他業界で取り組んでいるやり方も参考にできる有意義な例会となりました。(レポート:吉岡 美奈さん)

## 県西支部

6月20日(火) 境町商工会議所にて  
『「経営指針成文化セミナー」を受講して見えたものとは?』  
「経営」「働く」「地域」×デザイン  
報告者:青木 恵之さん (有)日青工業 専務取締役



若い頃の自分は色々な困難を周りの環境に原因があるとしていたと振り返ります。そこから自分の身の回りの事を全て自分の仕事とし、行動を変える事から自分自身の変革(デザイン)を行う。更に今度は会社のデザインに着手、仲間達と働く会社はどんな環境が良いのかをデザインし実践から結果を出し続け、現在は地域のデザインにも活躍は広がる。『デザインとは創造的計画』と話す青木さん。『Made in the future』を経営理念とし未来視点から現在をデザインするドラゴン支部青木さん! 今後も目が離せません!(レポート:八巻 大介さん)

## ドラゴン支部

6月7日(水) 旬の台所 しゃんしゃん龍にて  
『「龍ヶ崎を日本一に導いた男」』  
各地の魅力を発掘し町おこしを影で支える男がいた!?  
報告者:竹内 琢俊さん 日本ナルシスト協会 会長  
日本コロッケ協会 事務局長  
飯島 進さん (有)高橋肉店 代表取締役  
コロッケクラブ龍ヶ崎 会長



6月に行われたドラゴン支部例会は、「龍ヶ崎コロッケを日本一に導いた男」として、日本コロッケ協会事務局長・日本ナルシスト協会会長の竹内さんを招待して町おこしを影で支えプロデュースしてきた経験や実績、魅力を発見するための考え方や視点、そして発信の手段などこれまでの経験を包み隠さずお話頂き竹内さんの町おこしや地域の魅力を発見しそれを生業とする志を感じる事の出来る例会でした。例会の中で行われたワークショップでは大きな目標を達成する為にチームの中で自分がどんな立ち位置なのか大きな目標を達成する為にどんな進め方がいいのかを肌で感じられるものでした。報告後のフリーディスカッションと懇親会ではそれぞれの地域で積極的に活動する町おこしのキーマン達が竹内さんと膝を突き合わせ会話をすることでたくさんのヒントやアイデアを模索する場となりました。(レポート:石嶋 健太郎さん)

月に一度は同友会に参加しよう! 参加したら必ず何かを持ち帰ろう!